

## 多焦点眼内レンズによる白内障手術が 先進医療の対象手術から外れます

任意で加入する医療保険には先進医療特約を追加できるものがあります。多焦点眼内レンズを入れる白内障手術は今年3月までは先進医療として認められています。この場合は先進医療特約が適用できるため、高額な先進医療費（当院では片目30万円）を任意保険で支払ってもらえます（保険会社の条件により、給付が全額ではなく一部の場合があります）が、4月以降は先進医療から外れますので、先進医療費としては任意保険では支払われなくなります。

健康保険で受ける単焦点眼内レンズによる白内障手術と比べ、多焦点眼内レンズによる白内障手術にはメリットだけではなくデメリットもあり、必ずしも満足度の高い手術ではありません。多焦点眼内レンズをお勧めできない眼の方もいらっしゃいます。

この手術を検討されている方は以上のことをご理解いただき、診察時にご相談の上、詳細は加入している保険会社に確認して手術を受けてください。

2020年2月1日

柿田眼科 院長

柿田 哲彦